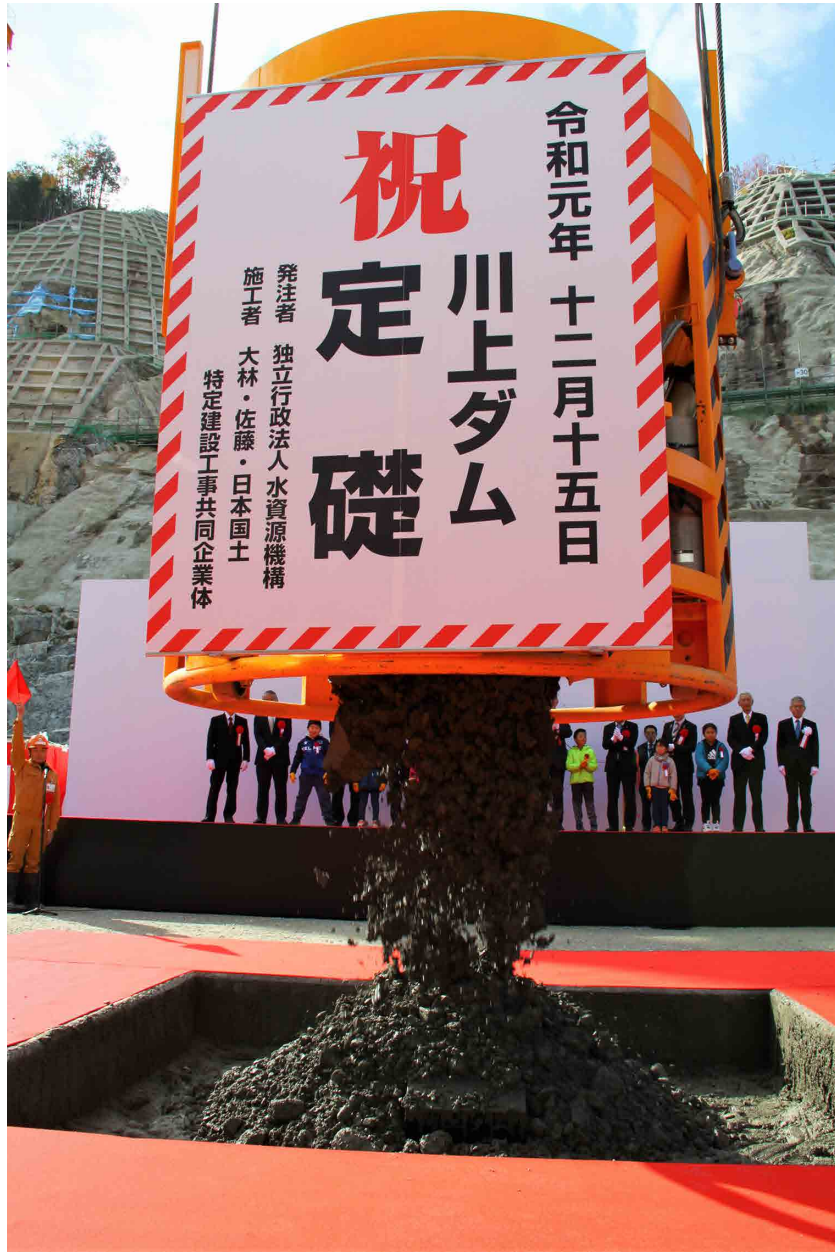


治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
ホームページ <https://zensuiren.org/>
お問い合わせ info@zensuiren.org
編集・発行 椿本和幸



川上ダム定礎式 令和元年12月15日
独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所 写真提供

● 目 次

「河川愛護月間」“絵手紙”入賞作品決定!.....	2
令和元年度水防功労者国土交通大臣表彰.....	7
川上ダム定礎式.....	10

「河川愛護月間」“絵手紙”入賞作品決定!

国土交通省水管理・国土保全局治水課

国土交通省では、河川環境の保全・再生への取り組みを推進するとともに、国民の河川愛護意識を醸成することを目的として、毎年7月を河川愛護月間と定め、様々な活動を行っています。

本年度も月間行事の一環として、全国の小学生・中学生・高校生・一般の方々を対象に、川での思い出、川への思いを一枚のはがきに絵と文章を組み合わせ描いた絵手紙を募集したところ、全国各地から気持ちのこもった作品が多数(1,049点)寄せられました。

審査は、小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部・一般の部の5区分で行われ、この度、国土交通大臣賞(最優秀賞)1点、国土交通事務次官賞(優秀賞)6点、水管理・国土保全局長賞(優良賞)8点、審査員特別賞5点(計20点)が決定しました。

なお、入賞作品については、来年度の「河川愛護月間」ポスター、チラシ等に使用するほか、河川愛護活動の推進に幅広く活用します。

受賞者及び入賞作品は、以下のとおりです。

<審査員>

- 安齋 千鶴子 (元 東京造形大学教授)
石橋 真理子 (ライター)
大平 信弘 (絵手紙募集実行委員会顧問)
小倉 紀雄 (東京農工大学名誉教授)
水野 麻紀子 (小学館ライフスタイル誌局
チーフプロデューサー)
山崎 登 (国土館大学防災・
救急救助総合研究所教授)
五道 仁実 (国土交通省水管理・国土保全局長)

主催：国土交通省

協賛：一般社団法人 建設広報協会
公益社団法人 日本河川協会
一般財団法人 河川情報センター

令和元年度 河川愛護月間絵手紙 受賞者一覧

賞	部門	都道府県	学校名	学年	氏名
最優秀賞 (国土交通大臣賞)	中学生	岩手県	リックゼンタカ タ シリツ タカ タヒガンチュウガッコウ 陸前高田市立高田東中学校	3	クマガイ ネネ 熊谷 寧音
優秀賞 (国土交通事務次官賞)	小学生低学年	大阪府	ミシュウガク 未就学		イガミ ケンイチロウ 伊神 拳一郎
	小学生高学年	徳島県	ヨシノガワシリツニシオエショウガッコウ 吉野川市立西麻植小学校	5	マエダ トモキ 前田 知輝
	小学生高学年	香川県	タカマツシリツオオタミナミショウガッコウ 高松市立太田南小学校	5	タカサキ アツヒロ 高崎 敦裕
	高校生	和歌山県	ワカヤマケンシリツワカヤマコウトウガッコウ 和歌山県立和歌山高等学校	3	ミナミ リナ 南 里奈
	一般	香川県			ニッタ ノリアキ 新田 憲明
	一般	奈良県			キバナタ ヨシタケ 木下 佳威
優良賞 (水管理・国土保全局長賞)	小学生低学年	長崎県	ナガサキダイガクキョウイクガクブゾクショウガッコウ 長崎大学教育学部附属小学校	3	コバヤシ タクマ 小林 拓真
	小学生高学年	高知県	コウチンシリツイズミノショウガッコウ 高知市立泉野小学校	4	ハヤオカ ユナ 早岡 佑納
	小学生高学年	茨城県	キタイバラキシリツセイイカショウガッコウ 北茨城市立精華小学校	6	スズキ オトハ 鈴木 音羽
	小学生高学年	北海道	ルモイシリツトウコウショウガッコウ 留萌市立東光小学校	6	タカハシ サキ 高橋 紗希
	中学生	千葉県	ヤチヨシリツムラカミチュウガッコウ 八千代市立村上中学校	1	タカセ ユア 高瀬 優亜
	中学生	岡山県	オカヤマシリツキヒチュウガッコウ 岡山市立吉備中学校	3	オカ ミツキ 岡 美葵
	高校生	静岡県	シズオカケンリツイワタミナミコウトウガッコウ 静岡県立磐田南高等学校	1	クロカワ コハル 黒川 小春
	一般	神奈川県			シンジヨウ エ 新庄 すが江
審査員特別賞	小学生低学年	高知県	コウチダイガクキョウイクガクブゾクショウガッコウ 高知大学教育学部附属小学校	1	ハヤシ ユメ 林 優芽
	小学生低学年	香川県	マルガメシリツジョウホクショウガッコウ 丸亀市立城北小学校	3	オカムラ リツキ 岡村 璃月
	小学生高学年	北海道	ルモイシリツトウコウショウガッコウ 留萌市立東光小学校	6	イシイ ハルキ 石井 悠希
	中学生	徳島県	トクシマシカモナチュウガッコウ 徳島市加茂名中学校	2	オカモト ヨウキ 岡本 康希
	中学生	千葉県	インザイシリツニシハラチュウガッコウ 印西市立西の原中学校	2	ウチダ ホノカ 内田 百奏

最優秀賞(国土交通大臣賞)



岩手県 陸前高田市立高田東中学校
3年 熊谷 寧音

優秀賞(国土交通事務次官賞)

<小学生低学年の部>



大阪府 未就学
伊神 拳一郎

<小学生高学年の部>



徳島県 吉野川市立西麻植小学校
5年 前田 知輝

<小学生高学年の部>



香川県 高松市立太田南小学校
5年 高崎 敦裕

<高校生の部>



和歌山県 和歌山県立和歌山高等学校
3年 南 里奈

<一般の部>



香川県 新田 憲明

<一般の部>



奈良県 木下 佳威

優良賞(水管理・国土保全局長賞)

<小学生低学年の部>



長崎県 長崎大学教育学部附属小学校
3年 小林 拓真

<小学生高学年の部>



高知県 高知市立泉野小学校
4年 早岡 佑納

<小学生高学年の部>



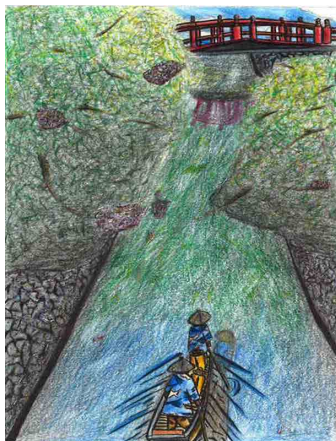
茨城県 北茨城市立精華小学校
6年 鈴木 音羽

<小学生高学年の部>



北海道 留萌市立東光小学校
6年 高橋 紗希

<中学生の部>



千葉県 八千代市立村上中学校
1年 高瀬 優亜

<中学生の部>



岡山県 岡山市立吉備中学校
3年 岡 美葵

<高校生の部>



静岡県 静岡県立磐田南高等学校
1年 黒川 小春

<一般の部>



神奈川県 新庄 すが江

審査員特別賞

<小学生低学年の部>



高知県 高知大学教育学部附属小学校
1年 林 優芽

<小学生低学年の部>



香川県 丸亀市立城北小学校
3年 岡村 璃月

<小学生高学年の部>



北海道 留萌市立東光小学校
6年 石井 悠希

<中学生の部>



徳島県 徳島市加茂名中学校
2年 岡本 康希

<中学生の部>



千葉県 印西市立西の原中学校
2年 内田 百奏

令和元年度水防功労者国土交通大臣表彰

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室

令和元年度水防功労者国土交通大臣表彰式が、2月10日(月)に挙行され、個人16名及び44団体の方々が受賞されました。

我が国は、地形、気象等の自然条件が厳しく、毎年のように豪雨や台風による洪水が全国各地で発生しています。特に昨年は局地的な集中豪雨や相次ぐ台風の上陸により各地で激甚な被害が発生したところです。

このような状況の中で、水防団員・消防団員の方々には、災害から国民の生命と財産を守り、被害の防止、軽減を図るためにご活躍いただいております。水防功労者国土交通大臣表彰は、こうした水防に従事される方々の功労に報いることを目的に、昭和31年に創設され、これまで毎年表彰を行ってまいりました。

個人の受賞者は、永年にわたり洪水時の水防活動に際して、悪条件の下、率先して陣頭指揮を執られました。加えて、水防技術の向上・伝承に多大な貢献をされました。

また、団体は、令和元年の洪水に際し、水防活動や避難誘導、人命救助等により人命の確保と被害の軽減に多大な貢献をされました。

これらの功績は誠に顕著であり、他の模範となるものです。ここで改めて、受賞された方々にお祝いを申し上げます。

なお、本表彰とは別に、水防団員として永年勤続され、退職された方々(全国で202名)に対しても、国土交通大臣報償が各府県を通じて伝達されました。

本年度の受賞者は次のとおりです。

1 水防功労者国土交通大臣表彰受賞者(敬称略)

(1) 個人(16名)

〔永年功労者〕

- ・高橋 伸治(岐阜県) 【木曾川右岸地帯水防事務組合田代水防団団長】
- ・郷 丈文(岐阜県) 【岐阜市黒野水防団副団長】
- ・出倉 裕之(岐阜県) 【岐阜市三里水防団副団長】
- ・飯田 丈夫(岐阜県) 【岐阜市常磐水防団分団長】
- ・丹羽 芳男(岐阜県) 【木曾川右岸地帯水防事務組合門間水防団団長】
- ・堀江 勝則(岐阜県) 【岐阜市鶉水防団団長】
- ・矢島 栄太郎(岐阜県) 【岐阜市岩水防団団長】
- ・渥美 啓一(静岡県) 【浜松市水防団団長】
- ・佃 繁(静岡県) 【静岡市水防団藁科川分団分団長】
- ・小出 隆夫(大阪府) 【淀川左岸水防事務組合水防団北第1防潮区副分団長】
- ・武村 昌一(大阪府) 【淀川左岸水防事務組合水防団港第6防潮区副分団長】
- ・福本 桂三(大阪府) 【淀川左岸水防事務組合水防団大正第4防潮区分団長】
- ・西川 光明(大阪府) 【淀川右岸水防事務組合水防団淀川第3水防区分団長】
- ・松下 政雄(大阪府) 【淀川左岸水防事務組合水防団点野水防区分団長】
- ・太田 正夫(大阪府) 【淀川右岸水防事務組合水防団西淀川第16水防区分団長】

〔水防技術の向上・伝承〕

- ・福井 保(兵庫県) 【水防専門家】

(2) 団体 (44団体)

〔洪水等に際し、被害の軽減に功労のあった団体〕

- ① 令和元年7月上旬豪雨における水防活動
湧水町消防団 (鹿児島県)
- ② 令和元年8月の前線に伴う大雨における水防活動
武雄市消防団 (佐賀県)
大町町消防団 (佐賀県)
- ③ 令和元年台風第15号、第19号及び10月25日の大雨における水防活動
神崎町消防団 (千葉県)
- ④ 令和元年台風第19号における水防活動
久慈市消防団 (岩手県)
大崎市消防団 (宮城県)
丸森町消防団 (宮城県)
大郷町消防団 (宮城県)
鏡石町消防団 (福島県)
郡山市消防団 (福島県)
常陸大宮市消防団 (茨城県)
大子町消防団 (茨城県)
常陸太田市消防団 (茨城県)
城里町消防団 (茨城県)
神栖市消防団 (茨城県)
結城市消防団 (茨城県)
水戸市消防団 (茨城県)
大洗町消防団 (茨城県)
境町消防団 (茨城県)
那珂市消防団 (茨城県)
栃木市消防団 (栃木県)
小山市消防団 (栃木県)
館林地区消防組合 館林消防団 (群馬県)
館林地区消防組合 明和消防団 (群馬県)
館林地区消防組合 千代田消防団 (群馬県)
館林地区消防組合 邑楽消防団 (群馬県)
加須市・羽生市水防事務組合 加須市・羽生市水防団 (埼玉県)
越辺川・高麗川水害予防組合 坂戸市水防団 (埼玉県)
東松山消防団 (埼玉県)
加須市自治協力団体連合会 (埼玉県)
加須市民生委員・児童委員協議会 (埼玉県)
調布市消防団 (東京都)
青梅市消防団 (東京都)
東村山市消防団 (東京都)
長野市消防団 (長野県)
上田市消防団 (長野県)
佐久市消防団 (長野県)
須坂市消防団 (長野県)

- 飯山市消防団（長野県）
- 東御市消防団（長野県）
- 千曲市消防団（長野県）
- 小布施町消防団（長野県）
- 函南町消防団（静岡県）

⑤ 令和元年10月25日の大雨における水防活動
佐倉市消防団（千葉県）

2 退職水防団員等報償受賞者道府県別内訳

府県名	受賞者数
北海道	0
埼玉県	3
神奈川県	6
岐阜県	48
静岡県	64
京都府	5
大阪府	76
合計	202



記念撮影



表彰状の授与（御法川国土交通副大臣より）



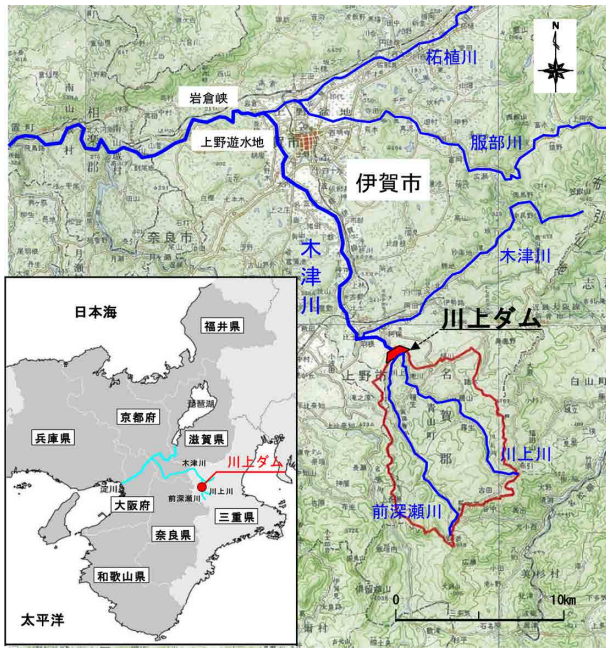
表彰式後、御法川国土交通副大臣と受賞者の方で記念撮影

川上ダム定礎式

淵上吾郎 独立行政法人水資源機構川上ダム建設所所長

1. はじめに

三重県伊賀市で建設中の川上ダムが位置する淀川水系木津川支川の前深瀬川は、その源を^{まえばだけ}尼ヶ岳（標高958m）に発し、山間部を北流して、^{ぬのびきとうげ}布引峠に源を発する川上川と合流した後、木津川と合流する流域面積56.2km²、流路延長15.5kmの一級河川（図1）です。その下流の上野盆地は、木津川、服部川、柘植川の三川が合流した直下流に岩倉峡という延長約5kmもの狭窄部があり、大きな洪水のたびに過去より常習的に浸水被害を受けてきました。一方、伊賀市の水道水源は、中小河川や小規模で老朽化した井戸が中心で、安定取水の確保が難しい状況にありました。



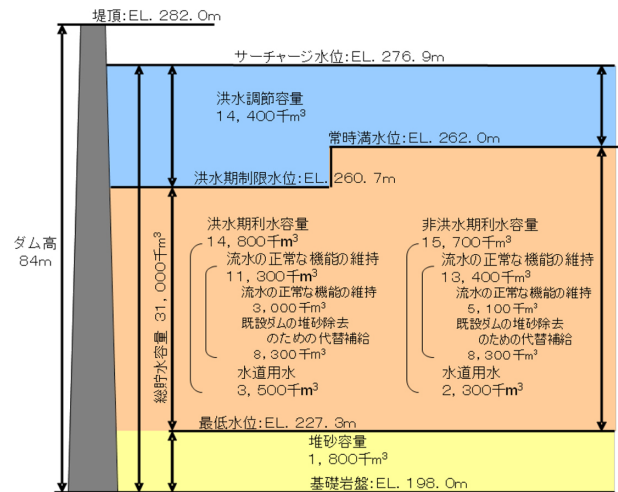
国土地理院発行1/200,000地勢図(名古屋)に加筆
(図1) 川上ダム位置図

2. 川上ダム建設事業の経緯

川上ダム建設事業は昭和42年に当時の建設省において予備調査が開始され、昭和57年に当時の水資源開発公団（現在の独立行政法人水資源機構）が事業を承継しました。

川上ダムは、上野遊水地及び河川改修と相まって、伊賀市上野地区などの浸水被害を解消し、また、川上ダムから上野地区までの前深瀬川及び木津川

の既得用水の補給などによる流水の正常な機能の維持（既設ダムの堆砂除去のための代替補給を含む）とともに、伊賀市に水道用水を供給することを目的とする、堤高84m、総貯水容量31,000千m³の重力式コンクリートダム（図2）です。



(図2) 川上ダム貯水容量配分図

平成21年に淀川水系河川整備計画が策定され、仮排水路トンネル工事に着手しました。その後、準備を進め、平成29年9月にダム本体工事の契約を行いました。平成30年4月に河川の転流を行い、9月より基礎掘削に着手し、平成31年3月に概ね完了しました。令和元年7月より減勢工、9月よりダム堤体のコンクリート打設を開始しました。

今後、令和4年度の事業完了に向けて、ダム本体のコンクリート打設のほか、取水設備や放流設備、管理設備などの工事も加わり、ダムが出来上がっていく過程が目前で展開されていくことになります。

3. 川上ダム定礎式の開催

令和元年12月15日（日）、川上ダムサイトにて、ダム堤体の本格的な築造が最盛期を迎えるにあたり、ダムの永久堅固と安泰を祈願する定礎式（独立行政法人水資源機構主催）を挙行了しました。式典は、国会議員、三重県副知事、三重県議会議員、伊賀市長、伊賀市議会議員、国土交通省水管理・国土保全局長、地権者をはじめとする地元関係者など、総勢約300名が参加して行われました。

はじめに主催者を代表して独立行政法人水資源機構理事長（写真8）よりご挨拶申し上げ、川上ダム建設所長から事業報告を行いました。その後、国土交通大臣政務官（写真1）をはじめ、国会議員（写真2、3、4）及び三重県副知事（写真5）、三重県議会議長（写真6）、伊賀市長（写真7）よりご祝辞をいただきました。次に川上ダム建設に伴い先祖代々の大切な土地をご提供いただきました移転者の皆さまを代表して、川上ダム対策委員会協議会代表よりご挨拶をいただきました。



（写真1）和国土交通大臣 政務官



（写真2）川崎衆議院議員



（写真3）中川衆議院議員



（写真4）足立参議院議員



（写真5）渡邊三重県副知事



（写真6）中嶋三重県議会 議長



（写真7）岡本伊賀市長



（写真8）金尾水資源機構 理事長

引き続いて行われた定礎の儀では、木遣り歌にきや合わせて約100kgの礎石を搬入（写真9）した後、鎮定の儀、齋鏝の儀、齋槌の儀がそれぞれ執り行ちんてい いみごて いみつちわれました。その後、地元の子もたちがそれぞれの思いを書き込んだメモリアルストーンを礎石のそばに置き、川上ダム建設工事で使用しているICT施

工機械のタワークレーンで運搬したコンクリートを礎石の周りに流し込みました（写真10）。無人化施工機械のバイバックで締め固め後、三重県議会防災県土整備企業常任委員会委員長の万歳三唱のご発声に合わせて、くす玉開披（写真11）が行われました。



（写真9）水資源機構及びダム本体施工業者職員による礎石搬入



（写真10）無人化施工機械でコンクリートを締め固め

4. おわりに

川上ダム建設事業は50年以上の長きにわたり、地元の皆さまをはじめ多くの方々のご協力ご支援をいただきまして、このたび定礎式を迎えることができました。

地域の安全・安心を確保するためダムの効果を早期に発揮できるよう、引き続き工事の安全や周辺環境に十分配慮しながら事務所一丸となって事業を進めていくとともに、この川上ダムが将来にわたり地域の皆さまにご活用いただき、誇りに思っただけの資産となるよう、地域の皆さまと連携・協働しながら魅力あるダムづくりを進めてまいりたいと思います。



(写真11) ご来賓及び地元の子どもたちによる「くす玉開披」